

令和元年度高校生学習状況調査の結果について

令和元年9月26日
高校教育課

1 調査について

- (1) 目的 全県立高校を対象に生徒が授業をどう考えているかを調査し、その結果を分析・活用することで、教員の授業改善および指導力向上、生徒の学習意欲の喚起等を図る。
- (2) 調査期間 令和元年6月24日から7月12日
- (3) 集計生徒数 合計 15,166人(回答率97.4%)

2 結果について

(1) 進路意識・キャリア教育に関する質問について

- ・「①将来の夢や目標を持っている」は73.5%、「②卒業後の進路志望は決まっている」は59.7%で、昨年度とほぼ同じ

(2) 家庭学習・生活に関する質問について

- ・「⑤平日」「⑥休日」の学習時間、「⑦通塾率」(23.5%)は昨年度と同様
平日 1時間未満 47.1%、3時間以上 13.1%
休日 1時間未満 39.4%、3時間以上 17.8%

<参考> 文科省 第17回21世紀出生児縦断調査(H30高2生)との比較

学習時間ゼロ 平日 全国 29.5%、本県高2生 19.5%

休日 全国 29.9%、本県高2生 20.2%

- ・「⑨平日のゲームの使用」「⑩平日のスマートフォン等の使用(学習以外)」は、いずれも1.6時間強で昨年度とほぼ同じ
- ・「⑪学習にインターネットを利用」は84.3%で、2.8ポイント増加
学習アプリ等の利用は3.8ポイント増加の26.8%で、調査を始めたH27年度の12.3%から、4年連続増加
- ・「⑫1か月の読書冊数」は平均1.60冊で、昨年度とほぼ同じ

<参考> 全国学校図書館協議会、毎日新聞社 第64回学校読書調査

H30年度 1か月間の平均読書冊数(高校生) 1.3冊

- ・「⑬新聞を読んでいる」は13.8%で、1.8ポイント減少
調査を始めたH27年度の20.7%から、4年連続減少
- ・「⑭ニュースの視聴」は、学年が上がるにつれ、テレビのニュース番組よりインターネットのニュースを見る割合が増加（新規）
（1年生 17.5% → 2年生 20.0% → 3年生 21.1%）
ニュースを見ない割合は13.7%で昨年度とほぼ同じ
- ・「⑮地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」は69.5%で、昨年度よりやや減少
- ・「⑯国や地方の政治に関心がある」は38.4%（新規）
学年と共に割合が高くなる傾向
- ・「⑰平日の睡眠時間」は平均6.43時間（新規）
最も多いのは「6時間以上7時間未満」の43.3%

（３）授業や学習に関する質問について

- ・「⑱わかる度」「㉑おもしろいか」は全教科で増加
- ・「㉒先生の説明や指示」はすべての教科で「わかりやすい」が80%超え
- ・「㉓話し合う活動」「㉔考えを表現する活動」も全教科で増加
特に理科で7ポイント近く増加
- ・「㉘授業の分からないところの解決方法」は、「本やインターネットで調べる」が25.4%で、2.3ポイント増加

3 まとめ

- （１）進路意識・キャリア教育に関する質問については、昨年度とほぼ同様の調査結果である。
- （２）家庭学習・生活に関する質問については、学習にインターネットを利用しているとの回答割合が増加している。
- （３）授業や学習に関する質問では、話し合う活動、表現する活動を重視する取組みが調査結果として表れており、授業改善が進んでいる。